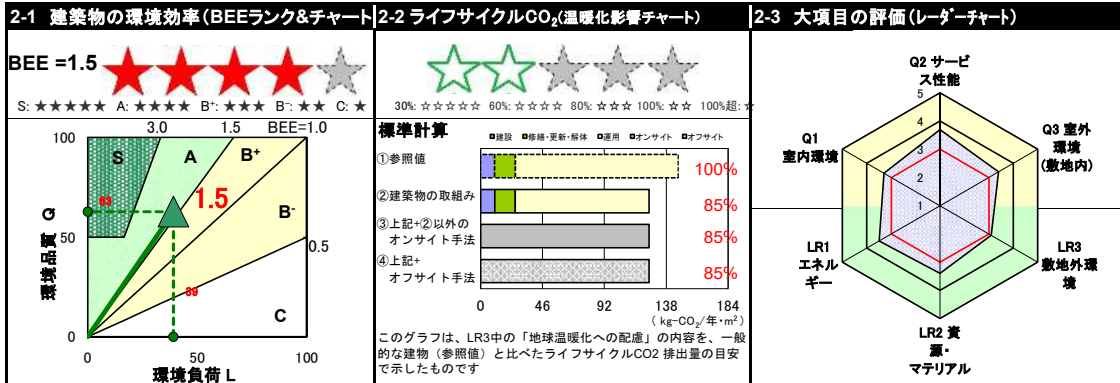
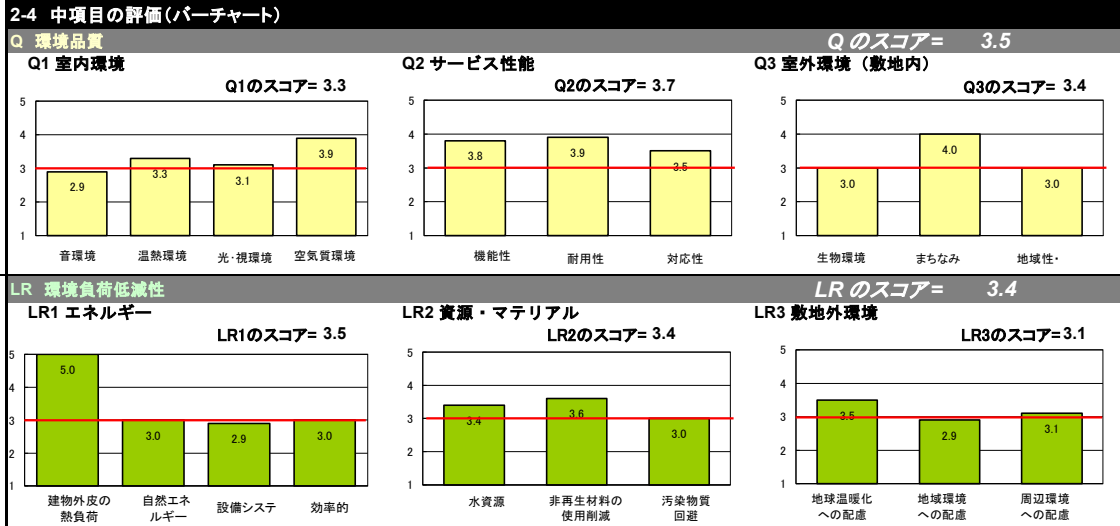


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	岡崎市民病院結核感染症病棟	階数	地上3階
建設地	岡崎市高隆寺町字五所合3番地1	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	52 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2027年10月 予定	評価の実施日	2026年3月27日
敷地面積	110,889 m ²	作成者	柳美香
建築面積	1,036 m ²	確認日	2026年3月27日
延床面積	2,108 m ²	確認者	中村慎吾



3 重点項目	
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化
3.5	3.0
②資源の有効活用	④地域材の活用
3.6	1.0

外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積) 20.6 %

建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積) 0.0 %

<外装材に使用した地域性のある材料> なし

<建物の構造材・内装材・外構に使用した地域性のある素材> なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

- ①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮
②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$



CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
岡崎市民病院結核感染症棟

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル:
■評価ソフト:CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	独自基準	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分			住居・宿泊部分			全体	
	重点項目		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									3.5	
Q1 室内環境					0.40			-	3.3	
1 音環境				0.1	3.0	0.15	2.6	2.6	1.00	2.9
1.1 室内騒音レベル				3.0	3.0	0.40		3.0	0.40	
1.2 遮音				0.4	3.0	0.40		3.0	0.40	
1 開口部遮音性能				-	3.0	0.40		3.0	0.30	
2 界壁遮音性能(軽量衝撃源)				-	3.0	0.60		3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	3.0	-		3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	3.0	-		3.0	0.20	
1.3 吸音				-	3.0	0.20		1.0	0.20	
2 温熱環境				0.3	3.3	0.35	3.0	3.0	1.00	3.3
2.1 室温制御				0.5	3.7	0.50	3.0	3.0	0.50	
1 室温				3.0	3.0	0.38		3.0	0.57	
2 外皮性能				3.0	3.0	0.25		3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性			ゾーン別に冷暖フリーの空調を採用している。	3.0	5.0	0.38		-	-	
2.2 湿度制御				3.0	3.0	0.20		3.0	0.20	
2.3 空調方式				3.0	3.0	0.30		3.0	0.30	
3 光・視環境				0.2	3.0	0.25	3.8	3.8	1.00	3.1
3.1 昼光利用				0.3	3.0	0.30	3.0	3.0	0.30	
1 昼光率				3.0	3.0	0.60		3.0	0.60	
2 方位別開口				-	-	-		3.0	-	
3 昼光利用設備				3.0	3.0	0.40		3.0	0.40	
3.2 グレア対策				0.3	3.0	0.30	4.0	4.0	0.30	
1 昼光制御			病室部分はサッシ内蔵ブラインドにより昼光制御できる。	5.0	3.0	1.00		4.0	1.00	
3.3 照度				3.0	3.0	0.15		3.0	0.15	
3.4 照明制御			ベッド毎に照明を設置している。	3.0	3.0	0.25		5.0	0.25	
4 空気質環境				0.2	4.0	0.25	3.7	3.7	1.00	3.9
4.1 発生源対策				0.5	4.0	0.50	4.0	4.0	0.63	
1 化学汚染物質			内装材はF☆☆☆☆としている。	3.0	4.0	1.00		4.0	1.00	
4.2 換気				0.3	3.5	0.30	3.3	3.3	0.38	
1 換気量			病室は30㎡/h人、診察室や談話室は35㎡/h人以上となっている。	3.0	4.0	0.50		4.0	0.33	
2 自然換気性能				3.0	3.0	-		3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	3.0	0.50		3.0	0.33	
4.3 運用管理				0.2	5.0	0.20	-	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	3.0	-		-	-	
2 喫煙の制御			敷地内禁煙	3.0	5.0	1.00		-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30		-	-	3.7
1 機能性				0.4	3.6	0.40	5.0	5.0	1.00	3.8
1.1 機能性・使いやすさ				0.4	3.0	0.40	5.0	5.0	0.60	
1 広さ・収納性			個室・多床室とも17㎡/床以上確保している。	3.0	3.0	-		5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応				3.0	3.0	-		3.0	-	
3 バリアフリー計画			独自	3.0	3.0	1.00		-	-	
1.2 心理性・快適性				0.3	4.0	0.30	5.0	5.0	0.40	
1 広さ感・景観 (天井高)			天井高さ2.7m	3.0	3.0	-		5.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				3.0	3.0	-		-	-	
3 内装計画			インテリアベースによる検討を行っている。	3.0	4.0	1.00		5.0	0.50	
1.3 維持管理				0.3	4.0	0.30	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			結核感染病棟のため、防汚性のある内装としている。	3.0	5.0	0.50		-	-	
2 維持管理用機能の確保				-	3.0	0.50		-	-	
2 耐用性・信頼性				0.3	3.9	0.31	-	-	-	3.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.4	4.6	0.48	-	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			重要度係数1.5	3.0	5.0	0.80		-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	3.0	0.20		-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				0.3	3.1	0.33	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				-	3.0	0.23		-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			②	-	3.0	0.23		-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				-	3.0	0.09		-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				-	3.0	0.08		-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			2種類以上にC以上を採用している。	-	4.0	0.15		-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				-	3.0	0.23		-	-	
2.4 信頼性				0.1	3.6	0.19	-	-	-	
1 空調・換気設備			空調区分を系統分けしている。	3.0	4.0	0.20		-	-	
2 給排水・衛生設備				3.0	3.0	0.20		-	-	
3 電気設備			② 非常用発電機を3階に設置している。	3.0	4.0	0.20		-	-	
4 機械・配管支持方法			耐震クラスA	3.0	4.0	0.20		-	-	
5 通信・情報設備				3.0	3.0	0.20		-	-	

3 対応性・更新性			0.2	3.5	0.29	3.6	3.6	1.00	3.5
3.1 空間のゆとり			0.3	4.2	0.31	4.2	4.2	0.50	
1 階高のゆとり			-	5.0	0.60		5.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	3.0	0.40		3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	0.31		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			0.3	3.4	0.38	-	-	-	
1 空調配管の更新性			-	3.0	0.17	-	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	5.0	0.11	-	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	5.0	0.11	-	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30		-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			-	3.0	0.30		-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			-	4.0	0.40		-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	3.0	0.30	-	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			-	3.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			-	3.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-		-	-	3.4
LR1 エネルギー				-	0.40		-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.59	3.0	5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.20	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI=0.82	3.0	2.9	0.30	-	-	2.9
4 効率的運用				0.2	3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング				-	3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	-	3.4
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水			節水機器を採用している。	3.0	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	3.6	0.63	-	-	3.6
2.1 材料使用量の削減				-	3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				-	5.0	0.28	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	1.0	0.28	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			乾式工法により躯体と仕上りが分離可能になっている。	3.0	5.0	0.34	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.0	0.68	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				-	3.0	0.50	-	-	
3 冷媒				3.0	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			(1)	-	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮				0.3	2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			燃焼機器を使用していない	-	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				-	2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			独自	-	3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			独自	-	3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制				-	3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				-	2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				0.3	3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-	
1 騒音			独自	-	3.0	1.00	-	-	
2 振動			独自	-	-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				-	3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				-	3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制				-	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			部屋ごとに照度計算を行った。	-	4.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				-	3.0	0.30	-	-	

重点項目スコアシート
岡崎市民病院結核感染症病棟

実施設計段階

■ 使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■ 評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点		全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策					3.5
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.5	0.10	3.6	
② 資源の有効活用					
Q2-2	耐震性・信頼性	3.9	0.09		
Q2-3	対応性・更新性	3.5	0.09		
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.6	0.19		
③ 敷地内の緑化					3.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	外構緑化:20.6%/建物緑化:0%	
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0	
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし	
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし	

■ 重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{重みの総和}}$

重点項目スコア=

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

環境設計の配慮事項

■建物名称 岡崎市民病院結核感染症病棟

計画上の配慮事項	
総合	①感染症に柔軟に対応できる病院 ②長期入院患者の生活空間として高い居住性の実現 ③コロナ禍の経験を踏まえた職員の安全・快適な環境 ④既存病院及び既存システムとの最適な接続
Q1 室内環境	ゾーン別に冷暖フリーの空調を採用するとともに、照明はベッド毎にブラケット照明を設置し、患者の裁量で光をコントロールできる環境とした。 感染対策と患者のプライバシーの確保を両立させるため、ブラインド内蔵のサッシを採用した。
Q2 サービス性能	病室は家族での入院を想定した2床室以外はすべて個室としている。比較的入院期間が長い病棟であること、医療行為動線を考慮し、各病室十分な広さを確保している。 結核感染病棟のため、防汚性があり、清掃しやすい内装材を全面に採用している。
Q3 室外環境(敷地内)	建物高さをなるべく抑えるとともに、長辺方向の外壁は3階部分に大きな窓を設けることで分節化し圧迫感を軽減している。 周辺の山地の緑豊かな景観を遮らないように彩度を抑えた色彩とする。
LR1 エネルギー	施設の用途上、設備の消費エネルギー量は大きくなるが、外皮の断熱性能を向上させるとともに、高効率の設備機器を採用した。
LR2 資源・マテリアル	乾式工法により躯体と仕上がりが分離可能とした。
LR3 敷地外環境	雨水は敷地内の調整池に排水する計画とした。
その他	